

人と人、人と自然のつながりを学び、 主体的に環境に関わろうとする東っ子

身近な自然環境である葉山川での環境学習を基点に、地域の自然や人を愛し、みんなが幸せに生活するために、環境に配慮した暮らしや行動の仕方について考え、主体的に環境に関わろうとする子どもの育成をめざす。

1 学校の概要

本校は、京阪神のベッドタウンとして人口が急増している草津市に位置する。

平成17年度よりエコ・スクールの実践校の指定を受け、校区に流れる葉山川を中心とした環境学習を重ねてきた。平成19年には淡海こどもエコクラブ大賞を受賞し、FBC（フラワーブラボークンクール）にも参加し、自然や生き物とのふれあいを体験する学習を積み重ねてきた。また、平成24年度から3年間「しが環境教育リーディング事業」の指定を受け、環境学習に重点を置き、地域の方々と共に取り組んだ。また、平成25年には環境省より環境保全功労者表彰を受けた。現在も「葉山川学習」（環境の学習）を継続して行っており、環境問題への関心は高い。

2 「エコ・スクール笠縫東」の取組

(1) 環境への関心と地域への愛着

社会では、地球温暖化、水質汚濁など、様々な環境問題がメディアに取り上げられている。

それらの問題は何か一つを変えれば解決するような問題ではなく、様々な立場の人と協力しながら少しずつ解決していかなければならない問題である。一人ひとりが自分勝手な考えを改め、相手の立場に立って行動したり、将来を見据えて行動したりする事が大切である。

本校が進める環境学習のねらいは、人と人、人

と自然のつながりを学び、学ぶ楽しさを知る中で、環境への関心や地域への愛着を深め、身近な環境に対して主体的に関わろうとする力や態度を育むことにある。

(2) エコ・スクールは、地域とのつながりによって支えられている

本校の「環境学習」は「自然環境」という意味だけでなく、「地域・人」も含め、「自然・地域・人」を広い意味での「環境」ととらえている。

一年間を通して、地域の方々にお世話になりながら地域の川である「葉山川」を基点に、1年生～6年生が、生活科・総合的な学習の時間を中心に環境学習（葉山川学習）に取り組んでいる。大人も子どもも楽しく集いながら環境学習を進めており、この学びの過程において、子どもたちと地域の人々との「つながり」を特に重要視している。

また、地域には、子どもの学習をサポートする地域の力「地域協働合校推進協議会」があり、特に、エコスクールについては「エコスクール支援委員会」を年2回開き、学校と地域とが連携して学習を進めるだけでなく、地域の取り組み内容や、昔の地域の様子などたくさんのことを教えていただいている。このように地域との二人三脚により、本校の環境学習は進められている。

(3) 6年間を通した取組

1年生では、生活科の学習で、地域の方の協力を得ながら、葉山川周辺にある草花に親しみ、草や実を使ってどんな遊びができるかを学んだ。「たのしいあきいっぱい」の学習では、いろいろな草花を飾ってオリジナルの帽子を作ったり、どんぐりや松ぼっくりでおもちゃを作って遊んだり、おなもみの実でダーツ遊びを楽しんだりする活動をして、自然のおもしろさに気づいた。その後取り組んだ「秋のおみせやさん」では、地域の方に教えていただいたことを生かしながら、どんぐりや松ぼっくりを使った遊びを考え、お客さんとのやり取りを楽しむことができた。

2年生では、生活科の学習で野菜（ミニトマト・ナス・オクラ・ピーマン）を育て観察する体験を通して、それぞれの野菜の葉や花、実の特徴を捉えることができた。実際に収穫する経験を通して、育てる大変さとともに喜びを感じることができた。

また、校庭や熊野神社に生息する生き物（ダンゴムシやバッタ、コオロギなど）を捕まえ、短期間育てる学習を行った。この学習を通して、生き物の生態を知り、自然や命を大切にしようとする心を養った。



1年生：「たのしい あきいっぱい」



2年生：生きものはかせになろう

3年生では、総合的な学習の時間に草津市の花「アオバナ」について学習した。「草津あおばな会」の方に来ていただき、アオバナの栽培につい

ての話を聞き、アオバナ紙を使ったうちわの色塗り体験を行った。また、「アオバナの魅力をもっとたくさんの人に伝えたい。」という子どもたちの思いから、アオバナの栽培や育て方、育てておられる方の思い、アオバナの使い方について調べ、理解を深めた。さらに東っ子博物館では、アオバナについて調べたことを発信するだけでなく、アオバナを使ったしおりを作成し、配布した。自分たちが調べたことを発信し、アオバナを守っていくために、自分たちに何ができるかを考えることができた。



3年生：「アオバナの魅力を伝えよう」

4年生では、昔の葉山川の絵と今の葉山川の航空写真を見比べて、今の葉山川との違いを出し合い、探険に行く前の課題意識を持った。実際の葉山川の様子を観察し、「昔の葉山川についてもっと知りたい。」という子どもたちの思いをもとに、地域の方をお招きして、昔の葉山川と共に生活されてきたお話を聞いた。また、昔の葉山川と「やまのこ」学習で学んだことをつなげて、森林の役割や身近な環境問題にも目を向け学習を深めた。このような学習を通して、環境問題を解決していくために、「自分たちにできることは何か」を考え、身近にできることから行動をしていくことが大切であると気づくことができた。



4年生：葉山川たんけん

5年生では、「未来へ残そう！美しいふるさとの川 We Love 葉山川プロジェクト」をテーマに、学習に取り組んできた。1学期には、びわ湖の環境について学んだ。魚やプランクトン、水質など自分が決めたテーマに沿って学習を進め、今後の自分の生き方やびわ湖との関わりについて考えを深めることができた。

2学期には、地域の方から米作りについてのお話を聞き、米作りにおける環境への取り組みを学んだ。また、地域の方々に協力していただき、葉山川の生き物調査を行った。身近な葉山川の現状を知ることで、自分たちには何ができるのかを考えるきっかけとなった。

東っ子博物館では、葉山川をよりよくするためのプロジェクトを提案し、地域の方々から意見をいただいた。11月には、「葉山川にもっと親しみを持ってもらいたい」という子どもたちの思いから、階段の設置を求めて県に要望書を提出するなど、計画していたプロジェクトを実行した。



5年：葉山川生き物調査

6年生では、世界の環境問題に着目し、環境学習を進めていった。世界にはどのような環境問題があるのか、その原因や影響について学んだ。

2学期には、自分たちの身近な問題としてより深く考えていけるように、食品ロスと環境を関連付けながら学習を進め、自分たちでエコ料理のレシピを開発し、調理を行った。また、東っ子博物館では、学んだことや自分たちの思いや考えを友だちや家族、地域の人に発信することができた。



6年生：草津塾のみなさんからお話を伺う

(4) 委員会活動での取組

本校には「エコロジー委員会」があり、委員会活動においても環境活動を進めている。1学期は、地球温暖化を防ぐためにどのような取り組みができるかを考え、グリーンカーテンを作るために、ゴーヤを植え、栽培した。2学期には、「ごみ拾いイベント」を企画し、全校児童を対象に学校内や葉山川の清掃を行った。短時間でたくさんのごみが集まったことから、「みんなが気持ちよく過ごせるように、ごみを見つけたら拾うなど、自分たちにできることをしていきましょう。」と呼びかけた。3学期は、地域の方に協力していただき、葉山川の清掃を行った。橋の下や川の近くなど隅々まで掃除をしていくと、ペットボトルやビニール袋など、生活する中で出てくるゴミがたくさん見つかった。清掃後は、どうすればこれらのゴミが減るかを考えた。

5 おわりに

葉山川学習で出会った地域の人々とのつながりを通して、子どもたちは葉山川周辺の自然だけでなく、人との関わり方など身近な環境から大切にしていくことの重要性を学んでいる。地域の自然をテーマにした環境学習は、持続可能な地域づくりであり、まちづくりである。子どもたちがそこから学ぶ楽しさを知り、地域の人と楽しく集う関係を作るとともに、自分の住む町に愛着や誇りをもち、自ら主体的に環境や周りの人々に働きかけていく力を身に付けていくことこそがその第一歩である。今日まで築いてきた地域の方々とのつながりを今後も大切にし、自分から地域の環境に働きかけていける子どもを育てていきたい。

学校名：草津市立笠縫東小学校

住所：草津市平井3丁目8-1

電話番号：077-564-4391

E-mail: info@kasaniuigashi-p.skc.ed.jp